

令和7年度 学校経営の方針

令和7年4月1日

我孫子市立並木小学校

1 学校経営の基本理念 「並木っ子のための並木小」 「ウェルビーイングの職場づくり」

- ・人権尊重の精神を基調に、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指す。
- ・学校、家庭、地域と連携協力し、保護者、地域から信頼される学校づくりを推進する。

【めざす教師像】

- 温かいまなざしで教育的愛情を注ぐ教師
- プロとしての専門的実践力を発揮できる教師
- 共に歩む心で職務遂行する教師
- 経営的視点で学校経営に参画する教師

【めざす学校像】

- 児童一人ひとりの学びを保障する学校
 - ・学習意欲を喚起する授業改善
 - ・安心して学べ、知的好奇心を促す学習環境の整備
- 好ましい人格形成をめざす学校
 - ・あいさつ、返事、言葉遣いの指導の徹底
 - ・豊かな心をはぐくむ体験的な活動の重視
- 教師が意欲と誇りをもって活動できる学校
 - ・授業力をつける。「主体的・対話的で深い学びの実現」
 - ・特別支援教育の専門性の向上
 - ・児童を「磨き 鍛え 高められる」教師
- 保護者・地域に開かれた学校、信頼される学校
 - ・学校運営協議会や地域協働活動の推進（保護者参加の活動）
 - ・情報公開、個人情報保護、説明責任（評価・評定など）

2 学校経営の基本方針 「明日も来たくなる、学びがあり楽しい並木小」

- 受容的、共感的、肯定的な雰囲気とルールに基づいた指導があるとき、
学校や学級は、「子どもにとって居場所のある教育環境」となる。

3 学校教育目標

- 未来を見つめ、今を生き抜く並木っ子 -
「心やさしく かしこく たくましい 子どもの育成」

【育てたい児童像】

- な** なかよし みんなが やさしいハートの 並木っ子 **「心やさしく」**
- み** 自ら進んで 学ぶパワーの 並木っ子 **「かしこく」**
- き** 気持ちも 体も ファイトいっぱい 並木っ子 **「たくましく」**

【具体的な児童像】

	児 童 像	児 童 の 具 体 像（行動目標）
心 や さ し く	な なかよし みんなが やさしいハートの 並木っ子	・ 場に応じて進んで挨拶ができる。 ・ 約束や規則の価値を知り、守ることができる。 ・ 励まし合い、認め合い、助け合いができる。 ・ 相手の立場や考えを理解し、思いやりの気持ちを持てる。
か し く	み 自ら進んで 学ぶパワーの 並木っ子	・ 基礎的、基本的な学習内容を身につけ、活用することができる。 ・ 学習の仕方がわかり、自分なりの工夫ができる。 ・ 進んで問題解決に取り組むことができる。 ・ 「聞く」ことができ、自分の考えを分かりやすく表現できる。
た く ま し い	き 気持ちも 体も ファイトいっぱい 並木っ子	・ 目標を持って、心と体の健康作りができる。 ・ 最後まで挫けずやり遂げることができる。 ・ 誰とでも明るく活発に活動し、みんなのために進んで行動できる。

4 学校経営の努力点

- ・ 「子どものためになる」を評価や判断の基準（学校評価・目標申告）にする。
 - ・ 普段の授業の充実、ルールを守り楽しい学校生活、特別支援教育の視点での学校経営
- （１）学校教育目標が「子どもの姿」として見えるようにする。
- ① 学習指導要領の趣旨を踏まえ、指導・評価計画に基づいて教育活動を展開する。
 - ② 日常の教育活動を計画的に進め、課題に対しては迅速、柔軟に対応していく。
 - ③ 学校組織を生かした実践を進める。P計画—D実行—C評価—A改善
 - ④ 学級経営や授業の基盤である生徒指導を重視。
 - ⑤ 子どもの心に寄り添った「居場所・絆・出番づくり」
- （２）清潔で美しい学校にして、子どもが落ち着いて生活できるようにする。
- ① 「なみきっ子のきまり」（学習・生活習慣）、「そうじのやくそく」（清掃）
 - ② 子どもの主体性を重視し、「生活目標」や「短期目標」に取り組む。
 - ③ きれいでさわやかな環境を整える。（掲示物、言語環境、校舎内外の整理・清掃）
 - ④ 子どもを大切にし、心が通い合う温かな学級をつくる。
 - ⑤ 特別支援教育の視点で学級経営を進め、教育相談活動に努める。
- （３）子ども達一人ひとりが生き生きと学習できるようにする。
- ① 学習意欲を喚起する授業改善を図る。（「わかる授業づくり」「伝え合う力」を育てる。）
 - ② 学習に主体的に取り組めるようにする。（教え合い、学び合い、話し合いの方法を工夫）
 - ③ 子どもの個性、能力、よさや可能性を発揮できるようにする。（指導と評価の一体化）
 - ④ 人権を尊重した指導・支援をする。
- （４）子ども達一人ひとりが生き生きと学校生活を送ることができるようにする。
- ① 子どもの生命の安全、健康を第一に心配りと危機管理を徹底する。
 - ② 体力向上のため遊びと運動を奨励する。
 - ③ 子どもの願いや発想、行動を認めていく。→主体性を育てる。
 - ④ 温かい心（肯定的な評価）を中心に意欲と自覚を促す。
- （５）校内研究を日常化し、「子どもが育つ」教育活動が展開できるようにする。
- ① 学習指導要領の目標に迫る。
 - ② 時間いっぱい授業を大切にする。
 - ③ 研修活動の活発化を図る。（校内研修の充実）
 - ④ 読書教育の充実を図る。

5 令和7年度の学校経営の重点

(1) 心の教育の充実に努める

- ①長欠・不登校への対応 → 校内教育支援センター「そよかせ」の活用
- ・ 不登校傾向の早期発見、早期対応、保護者との連携 **<数値目標>**
 - ・ 心の相談員、SC(スクールカウンセラー)、関係機関との連携 **不登校率2%未満**
 - ・ 自己有用感を育む学級づくり
 - ・ 教育相談の充実
- ②いじめ問題への対応 → 組織的に対応 生徒指導の「さ・し・す・せ・そ」
- ・ いじめの早期発見、早期対応、早期解決 **<数値目標>**
 - ・ いじめアンケート及び個人面談の実施 **アンケートで**
 - ・ いじめをゆるさないルール作り **いじめ解決率100%**
 - ・ 全ての児童に個別の教育相談を実施
- ③ルールを守った規律正しい生活 → 子ども主体の「生活目標」や「短期目標」
- ・ 「なみきっ子のきまり」を守る **<数値目標>**
 - ・ 「そうじのやくそく」を守る **学校評価「進んであいさつ」
肯定的な回答90%以上**

(2) 学ぼうとする意欲を高める

- ①徹底した授業改善 → 全ての教員が授業改善を目指した指導計画の作成を目指す
- ・ 時間で始まり、時間で終わる授業
 - ・ 「主体的、対話的で深い学び」に基づく授業実践 → 教え合い、学び合い、話し合い
 - ・ 「見出す → 自分で取り組む → 広げ深める → まとめあげる」に基づいた授業展開
 - ・ 年間総時数に基づき、前年度の反省を生かした年間指導計画を作成
- <数値目標> 学校評価の児童アンケート「授業がよくわかる」肯定的な回答90%以上**
- ②読書活動の推進
- ・ 朝読書、読み聞かせボランティアによる読書機会の充実
 - ・ 授業における学校図書館の活用
 - ・ 国語科における並行読書の推進
 - ・ 移動図書館の活用
- <数値目標> 図書室の本の貸し出し1人平均25冊以上**
- ③特別支援教育の充実
- ・ 通常学級における、支援や配慮を要する児童への手立ての確立
 - ・ 特別支援学級における、通常級への交流及び共同学習の充実
 - ・ すべての子どもの「わかる・できる」を目指した「授業のユニバーサルデザイン化」
- <数値目標> 児童アンケートで、交流学习の充実度90%以上**

(3) たくましく生きるための健康を保ち、体力をつける

運動の日常化

- ・ 主体的に運動できる環境の整備
 - ・ 児童の実態に即した体育科年間計画の作成と検証
 - ・ 運動会種目と体力づくり、体育授業の関連付け
 - ・ 持久走・縄跳び練習の成果発表の場の設定
 - ・ 体力づくりカード、学習カード等の充実
- <数値目標> 新体力テストの「柔軟性」「走能力」「跳能力」、全学年が全国平均以上**